

学報

GAKUHO

2023.8
vol. 61

特集 | 4学部在教育最前線

聖書のことば／クリストファーニュース／聖隷クリストファー生のとある一日／地域連携推進センター通信
新任教員の紹介／国家試験対策／私たちの国家試験合格ストーリー／専門学校通信
研究の紹介／活躍する卒業生・修了生／リカレント教育のご案内／数字で見る大学・専門学校／後援会報告



聖隷クリストファー大学



聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校

愛は律法を全うする

イスラエルよ、聞け。今日、わたしは掟と法を語り聞かせる。あなたたちはこれを学び、忠実に守りなさい。我々の神、主はこの契約を我々の先祖と結ばれたのではなく、今ここに生きている我々すべてと結ばれた。

申命記 5 章 1～3節

モーセが神から授かった「十戒」は厳格だ、という印象を持たれがちである。十戒の一戒から四戒の内容は「神は唯一である」から始まっているのは事実である。しかし、続く五戒から十戒は父母を敬え、殺すな、姦淫をするな、盗むな、偽証するな、隣人の物を欲するなと続いており、どの戒めも誰しものが納得できる内容であろう。

十戒と言えば仏教の教えに「沙弥十戒」があるのをご存知だろうか。無学浅識ながら「仏教は唯一絶対の神を持たない」という。そのためか、モーセの十戒（一戒から四戒）にある神との関係を謳う戒めは見当たらず、十の戒めの全てが人間相互に関する事柄からできていることが分かる。内容は不殺生、不盗、不淫、不妄語、不飲酒、不著香華鬘、不香塗身（身を飾らない）、不歌舞倡妓、不往觀聽、不坐高广大床（大きな家に住まない）、不非時食（食事時以外に物を食べない）、不捉持生像金銀宝物となっており、モーセの十戒との重複の多さに驚かされる。

主イエスは「律法を完成するため マタイ 5:17」に來られたと告げながら、「愛は律法を全うする。ロマ 13:8」ことを喧伝している。神の戒めは私たちの生き方を重くするものではない。主イエスは「疲れた者、重荷を負う者は、だれでもわたしのもとに來なさい。休ませてあげよう。」「わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。 マタイ 11:28」と教え、共に生きるように、と私たちを招いておられる。

聖隷学園宗教主任 永井 英司





日頃より、本学の教育・研究並びに運営にご支援ご協力いただき、心より感謝申し上げます。

今年度、本学は「国際教育学部」を開設し、看護学部・リハビリテーション学部・社会福祉学部・国際教育学部の4学部体制となり、保健医療福祉の総合大学から、保健医療福祉及び教育の総合大学として、新たな発展を目指します。

この国際教育学部の開設には2つの意義があります。一つは、国際的視野をもち、多様性を認め合う子どもたちの教育です。特に日本は高い均質性を有していることが大きな利点ですが、その一方で、その高い均質性が多様性や創造性を妨げ、革新的な発展を抑圧する方向にも働きます。これから未来を担う子どもたちには、多様性を尊重し、創造的思考力を発揮して既存のパラダイムを乗り越える主体的な行動力を身につける必要があります。国際教育学部では、「生命の尊厳と隣人愛」の建学の精神を基に、IB（国際バカロレア）教育により、世界の人々とも交流し、多様性を認め合い、共に課題解決に取り組むことのできる子どもたちの教育を推進します。もう一つは、現在の教育課題として、不登校、発達障害、心の問題や家庭環境に問題を抱える子どもへの教育支援があげられます。このような多様なニーズに応えるには、教育と保健医療福祉とのインタラクションが大切です。国際教育学部では、他学部をはじめ、聖隷学園のこども園・小学校・中学校・高等学校、聖隷福祉事業団などとも連携して、子どもの多様なニーズに応え得る保育・教育の人材育成を目指します。加えて、国際教育学部と社会福祉学部には、公認心理師を目指すコースを設置しました。2026年には大学院社会福祉学研究科に、必要な科目を配置する計画です。

聖隷学園の今日の発展は、社会の課題解決に向けて人材育成を推進してきたことにあります。これからも私たちは、建学の精神を遵守し、社会のニーズにチャレンジして、この地域と世界の人々の幸福に資する人材育成に努めて参ります。引き続き、皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます。

Christopher News クリストファーニュース 2023年度

サミュエルメリット大学の研修生を受け入れました

6月19日～26日、国際交流協定校である米国のサミュエルメリット大学で看護を学ぶ10名の研修



生を受け入れました。

学内にて、高齢者疑似体験スーツを用いた高齢者への看護や、災害シミュレーション機器を体験して災害時の看護について学んだほか、聖隷三方原病院では、ドクターヘリや助産所、ホスピス、重症心身障害児者の施設を見学し、訪問看護ステーションでは訪問看護師に同行して実際の訪問場面を経験し、日本の在宅医療・

看護を学びました。

研修の終盤には、本学の国際保健医療福祉プログラムの学生が中心となって企画した観光で、日本文化を体験しました。米国からの研修生の受け入れは、4年ぶりとなりました。海外の交流協定校からの研修生の受け入れや交流協定校への本学学生の派遣が再開し、今後さらに本学の国際交流が進んでいきます。

国際教育学部開設記念講演会を開催しました

本学では2023年4月、国際教育学部を開設しました。同学部では、「多様性を認め合い、多様性から学び合う」国際的視野をもち、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士、公認心理師、国際バカロレア教員（PYP）などの教育・保育・心理のスペシャリストの養成を目指します。

7月1日、国際教育学部の開設を記念して、講演会を開催しました。

講師として、東京未来大学こども心理学部長であり、犯罪心理学者としてさまざまなメディアにて解説などを行っている出口保行氏



をお招きし、「確証バイアスという罠～よかれと思って…が子どもに与える影響～」と題して心理学的観点から子育てや教育・保育に活かす方法について講演をしていただきました。当日は教育関係者の方や、地域の方、学生など約180名にお越しいただき、参加者が実際の事例を元にしたお話に対して真剣に耳を傾けている様子が見られました。

特集 4学部教育最前線

看護学部

看護英語と国際教育

看護学部の英語教育と国際交流は、ここ10年で大きな発展を遂げています。今回は学部の「教育最前線」として、看護英語と国際教育の実践をご紹介します。

1 「看護＋英語」に対する学生の意識変化

看護学部では、一般教養の英語科目に加えて「看護英語（英語Ⅲ）」という科目を開講しています。以前は「看護＋英語」への挑戦に対して心理的なハードルを感じる学生もいましたが、授業と国際交流を通して「看護英語」の重要性が広く理解されるようになりました。学生たちは英語を使って看護を学ぶことに積極的で、「看護ケアを英語でも患者

さんに提供したい!」

という思いを抱いています。授業は対話中心でありながら、それだけでは足りません。授業外での体験も含めた「看護＋英語＋国際交流」での学びが、学生たちの心を動かします。



SMU研修生の受け入れ初日

2 「看護英語」の授業と国際交流

授業の様子をご紹介します。「看護英語」では、看護と英語の両方に共通する対話スキルを磨きます。看護に必要な語彙や表現を学びながら、異なる文化を持つ患者への配慮も身につけます。「英語は楽しく学ぶ!」をモットーに、ゲーム形式で語彙を学び、発音を練習し、ロールプレイを通じて実践します。看護師としての問診やバイタルサインの測定など、実際の業務に即した練習も行います。同じ表現を繰り返し学ぶことで、自然に英語力が向上します。後半はグループごとに看護ケアのテーマを選んで学びを深め、成果を英語で発表しています。

また、今年度は4年ぶりに米国のサミュエルメリット大学

(SMU)との交流が再開されたこともあり、授業の一環でSMU研修生へのインタビューを実施しました。「Why do you want to become a nurse? (看護師になりたいと思ったきっかけは何ですか?)」、「What kind of nurse do you want to be in the future? (どんな看護師になりたいですか?)」、「What skills do you think nurses need? (看護師が持つべきスキルは何だと思いますか?)」など、興味深い質問に対して研修生たちは真摯に答えてくれました。話題は好きな日本食やアニメ、音楽などにも及び、インタビューを通じて、学生たちは国際交流の楽しさと喜びを身近に感じられたことでしょう。

3 国際保健医療福祉プログラム(副専攻)

本学では2022年度から国際保健医療福祉プログラム(副専攻)を開始しました。このプログラムでは、看護の学びに加えて国際看護、支援、ボランティア、英語での演習などを学ぶことができます。今年度は副専攻の2年次生がSMU研修生の受け入れ時にホストとして活躍し、週末の市内観光を企画、体験型のツアー(染物体験、お寺での精進料理

と散策など)で日本文化の紹介を行いました。これらの準備には学生たちの熱意と協力があり、双方の学生にとって、この日は特別な国際体験となりました。

看護英語と国際教育での経験は生涯の宝物になります。成長を遂げた学生たちはその学びを地域や国際社会に還元し、新しい看護の輪と価値観を創造していくことでしょう。



授業でロールプレイ、英語で問診中



研修最終日の溢れる笑顔



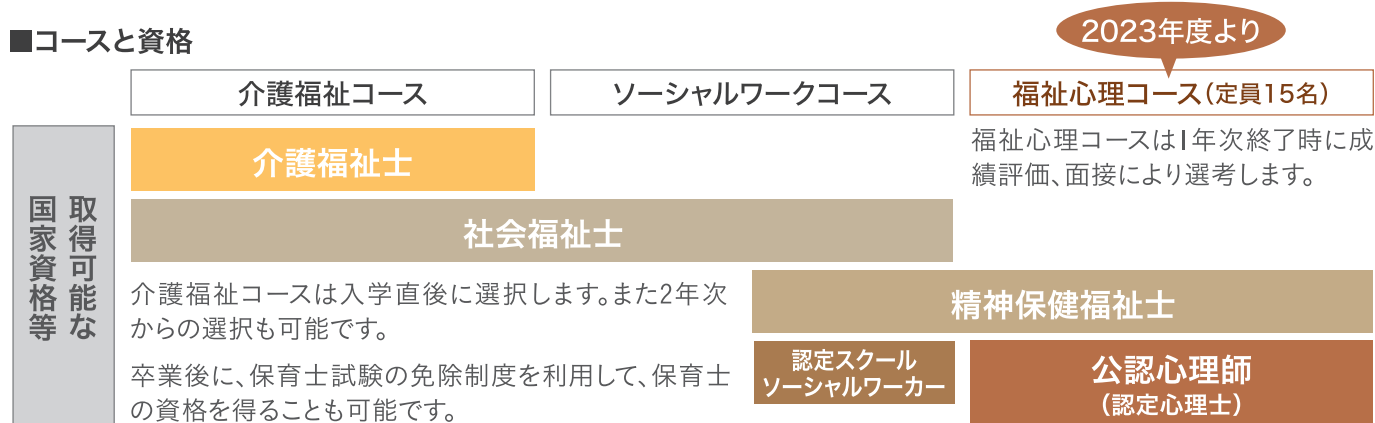
英語で交流報告会

社会福祉学部

社会福祉学部 社会福祉学科 3つ目のコース 福祉心理コース設置

2023年度より社会福祉学部社会福祉学科においては、従来の介護福祉コース、ソーシャルワークコースに加え、精神保健福祉士と公認心理師（認定心理士）の資格取得を目指すことができる「福祉心理コース」を新たに設置しました。

■コースと資格

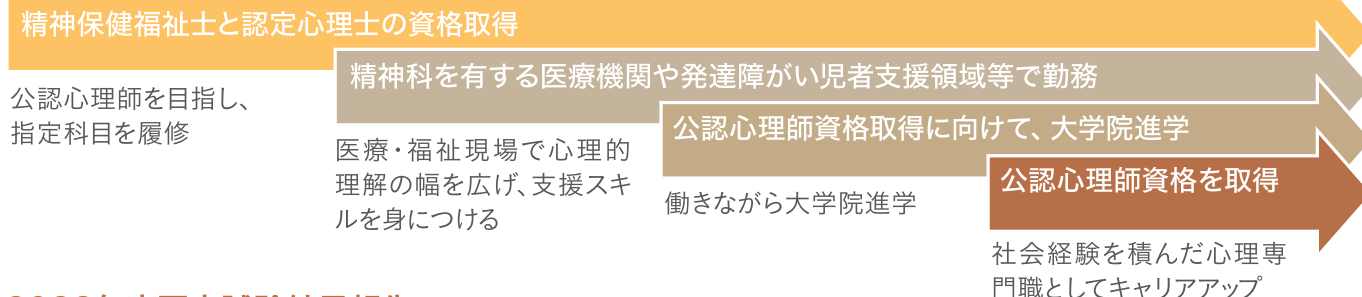


近年、ひきこもり、依存症などのほか、メンタル不調を抱える人々が増加し、こうした人々やその家族に対して、社会的側面からだけでなく、心理的側面からの支援が一層強く求められるようになりました。そこで本学では、心理的支援もできる「心理に強いソーシャルワーカー」を育成し、社会の要請に応えたい、と考え、全国でも珍しい精神保健福祉士と公認心理師（認定心理士）という組み合わせのカリキュラムを整えることといたしました。

従来、心理系の学部学科を卒業しても心理職として就職す

ることが困難なため多くが一般企業に就職している、というミスマッチが指摘されていますが、精神保健福祉士の資格を取得していれば、心理的支援も行っている医療・福祉専門機関でまずソーシャルワーカーとして働く機会が開け、心理職と共に仕事をする中で支援スキルを身につけることが可能となります。そしてその経験をベースに自信をもって、次のステップとして大学院進学を目指すことでキャリアアップも期待されます。（本学では、2026年度までに大学院に公認心理師カリキュラムを創設することを予定しています。）

■公認心理師資格取得までのプロセスの一例



2022年度国家試験結果報告

2022年度介護福祉士、社会福祉士、精神保健福祉士それぞれの国家試験の結果、介護福祉士については5年連続100%（全国養成校新卒者平均75.6%）、社会福祉士は75.9%（全国大学新卒者平均65.0%）、精神保健福祉士94.7%（全国大学新卒者平均78.8%）と、非常に高い合格率を達成しました。特に社会福祉士については、50人以上受験している全国の大学の中で10位タイ、東海地

方の大学の中で1位タイ、精神保健福祉士については15人以上受験している全国の私立大学の中で第2位という結果でした。

これからもこの結果が継続されるよう、国家試験対策委員の教員はもちろん、すべての教員が学生一人ひとりに寄り添いながら、合格を目指して支援に当たりたいと思います。

特集 4学部教育最前線

リハビリテーション学部

国際教育—世界にはばたく人材育成—

リハビリテーション学部では、2019年度に国際リハビリテーションコース(以下、国際リハコース)が開設されました。理学療法士・作業療法士・言語聴覚士の国家試験受験資格の得られる通常科目に加え、指定された科目を履修することで国内外の保健・医療・福祉の現場において課題解決できるグローバルな人材を育成することが目的です。コロナ禍で活動が大きく制限されましたが、2023年3月に第1回目のコース修了生5名を送り出すことができました。ここでは、国際リハコースの独自のカリキュラムについて、履修生の様子を交えながらご紹介します。

1 国際コミュニケーション演習

国際リハコースには、語学力と共にリハ専門職としてのコミュニケーション力を高めることを目的として、英語を用いて実施する演習科目があります。聖隷クリストファー小学校では、英語イメージ教育として国語以外の教科は英語で授業が行われています。国際リハコースの履修生が小学校に出向き、小学5年生に対してボディランゲージを駆使しながら、生徒の状況や理解に合わせて英語で説明と指導を行う「走り方教室」を企画しました。

履修生は、はじめは緊張がみられましたが、元気いっぱいの小学生に刺激され、徐々に普段の力や準備の成果を発揮できたようです。



国際コミュニケーション演習

2 国際臨床実習

国際リハコースでは、最後の科目として、3年次の2月～3月にかけて国外における医療福祉現場を想定した国際実習実習演習が設定されています。理学療法(以下、PT)学科はフィリピンのマリアノ・マルコス州立大学(以下、MMSU)にて、作業療法(以下、OT)学科はオーストラリアのイーデス・コーワン大学(以下、ECU)にて、約2週間の実習を実施しました。実習開始前には、ホームページやYouTubeなどで実習先施設の情報収集をしたり、英会話コミュニケーション、面接練習などの準備を重ねました。現地に到着後は、施設見学や対象者と接する際の留意点などについて講習を受けると共に、本学を紹介する英語のプレゼンテーションを行うオリエンテーションを経て実習が開始されました。引率教員と現地スタッフの指導のもと、実際に対象者の評価・治療を経験し、終了後のCase Presentationでは、本学の履

修生と現地の学生が協力しながら、プレゼンテーションを行いました。initial evaluationの結果をもとにしたアセスメント、ゴール、治療プログラムに関する質問に対して英語で回答するなど、学んだ成果を大いに発揮し充実した時間を過ごしました。

1つ嬉しいサプライズがありました。それは、ECUでPT・OTの免許取得を目指す本学の卒業生2名(男女各1名)と遭遇したことです。自ら道を切り拓く2人の姿を見て、とても頼もしく感じました。彼らは海外を目指した理由などを履修生に語り、今後も本学の国際教育活動に喜んで協力することを約束してくれました。

2022年度からは全学部を対象とした「国際保健医療福祉プログラム(副専攻)」が開始され、国際リハコースの新規募集は終了となりました。今後は、看護・リハビリテーション・社会福祉学部の学生が協力して学ぶことで、グローバル教育はさらに発展し、より質の高い人材育成が行われます。



国際臨床実習MMSU



国際臨床実習MMSU



国際臨床実習ECU(卒業生は両端)

本学における小学校教員の育成と 教員採用試験対策

小学校教職課程が5年目に入りました。1期生は、3月に本学を卒業し、この4月から小学校や特別支援学校の教壇に立っています。教員採用試験を受験した学生のうちの7割が正規の教員として、日々の授業づくりや学級づくりなどで教育への熱い思いを実際の教育活動の中で実現し始めています。

1 本学の教員育成の特色

①現場実習による教育実践力の向上

学校現場で力を発揮できるよう大学でも教育実践力をつけるために、理論だけでなく、実習活動を多く取り入れています。実習は、2年次秋セメスターから始まる「小学校インターンシップ実習Ⅰ・Ⅱ」、3年次秋の「教育実習」、4年次秋の「インターンシップ実習Ⅲ」へと進めることで実践力をつけ、卒業直後の4月当初から教育活動を円滑に展開する力をつけます。

3年間にわたる実習校との関係は、実習校からも「ぜひ、先生になってほしい。」「本校に来てほしい。」という声が数多く寄せられ、実習校の温かな雰囲気の中で教員育成を図ることができます。

②「理論と実践」、「実践と理論」との往還による教育課題解決

教育実践力をつけるために大学授業には、教科科目と教科指導法科目があります。その間に、小学校インターンシップ実習が組まれているため理論と実践とのサイクルが回転します。具体的には、教科科目で理論的な学びをした後に、実際の学校現場での実習があります。その後、教科指導法で授業づくりの原理を学び、その学びを生かして教育実習で実際に授業をします。教

育実習後には、卒業研究を含めた特定教育課題の追究をし、最後のインターンシップ実習Ⅲで検証したり、新たな学びへとつなげたりします。

2023年度からは、聖隷国際教育学会を立ち上げ、卒業後を含めた実践的研究・研究的実践へと展開できるような体制を構築しました。

③新たな教育課題に対応する環境整備

今、小学校では教員のICT活用力の向上が教育課題となっています。これに速やかに対応するため、本学では浜松市内の公立小学校で導入されているICT環境と同じICT環境を整えました。教育指導法の模擬授業を行ったあと早速、学生ICT委員は、教員としてICTをどのように活用できるかの可能性を探っていました。



模擬授業で表れた課題(左写真)に対して、ICTを活用するとどうなるのかを追究している学生ICT委員(右写真)

2 充実した教員採用試験対策支援

教員採用試験対策の根幹となるのは充実した授業です。日々の授業において知識を身につけ、対策講座によって定着を図ることで、教員採用試験を突破する力をつけていきます。

2022年度から教職センターを設置し、静岡県や浜松市の教員採用試験の面接官を経験したベテラン教職員が進路相談、面接指導、小論文指導、実習指導等に携わっています。2023年度からは、常駐体制を整えることができ、今まで以上にきめ細やかなサポートが可能になりました。

2021年度に授業づくりが大好きな学生が集まり、授業研究サークル「もぎじい。」を立ち上げました。今後も、このように夢に向かって取り組んでいる学生のサポートをすることで、大学や教育界への貢献をしていきたいと思っています。



授業研究サークルでの検討会



面接指導の様子

看護学部

常に周りを見て、何が求められているのか
観察する力がつきました。

看護学部3年次生 ながた りん 永田 凜さん

どんなアルバイトをしていますか？

イタリアンレストランでアルバイトをしています。私はホール担当なので、料理の提供やお客様のご案内がメインの仕事です。お客様と話をさせていただくなかで、たくさんの刺激をもらいながら楽しく働いています。来てくださったお客様に楽しいな、また来たいなと思ってもらえるように笑顔で明るく接客することを意識しています。

アルバイトで学んだことは？

「相手が求めているものは何か考える力」です。私のアルバイト先には呼び出しベルがありません。お客様が何を求めているのか考え、言われる前に対応することを大切にしています。常に周りを見て、何が求められているのか観察する力がつきました。あとは、常連さんからオススメのお店を教えることで、浜松市を楽しむことができます。



聖隷クリスト とある一日

学業、サークル活動、アルバイト、
クリストファー生たちはどのような

社会福祉学部

これからどんな思い出を仲間たちと
作っていけるのか楽しみです。

社会福祉学部3年次生 とやま ね ね 遠山 寧々さん

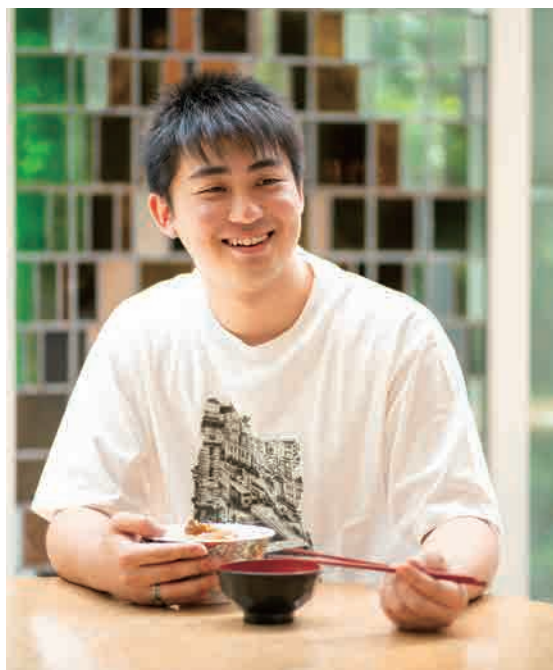
どんなサークルに入っていますか？

5月に「演劇サークル劇団泥舟」を設立し、毎週金曜日に活動しています。外の劇団さんの作品から勉強したり、役者の基礎練習をしたり、舞台に必要な道具をそろえたりしています。ひとまずの目標は11月に行われる聖灯祭での公演です。メンバーの学年も学科も実習時期もばらばらのため、SNSなども活用しながら準備を進めています。

これからどんなことが楽しみですか？

配役が決まって初めて台本の読み合わせをしたときは「いよいよ始まるぞ」とわくわくしました。裏方の準備や役者の稽古の様子は記録も兼ねてInstagramなどに投稿してるので、ご覧いただけると嬉しいです。これからどんな思い出を仲間たちと作っていけるのか楽しみです。





リハビリテーション学部

学食に来ると他学部の友達とも会えるので
楽しいです。

リハビリテーション学部2年次生 た な か じゅんぺい 田中 準平さん

学食にはどれくらいの頻度で来ていますか？

最近は減りましたが、以前はほぼ毎日来ていることもありました。友達と来ることが多いのですが、ここに来ると他学部の友達とも会えるので楽しいです。食事をしながらゲームやアニメなどについて話すことが多いですが、ここテストに出るらしいよとか、リアクションペーパー出した？とか勉強について話したりもします。

どんなものを食べていますか？

今日は、鶏肉のごま照焼丼と味噌汁です。お金に余裕があるときはAランチや中華麺セットを頼むことが多いです。ちょっと余裕がないときは、僕たちは300円定食と呼んでいるのですが、ミニ丼と味噌汁を頼みます。結構お腹にたまるのでオススメです。好きなメニューが売り切れの時は2階の売店で買うこともあります。



ファースターの One Day

休日…。
一日を過ごしているのでしょうか？

国際教育学部

ピアノ未経験なため、練習して上達できるように
頑張っています。

国際教育学部1年次生 うんの しゅうと 海野 修都さん

休日はどのように過ごしていますか？

休日はよく買い出しに行っています。私は一人暮らしをしているので、消耗品や食材などの補充などを行っています。学業の面では、ピアノの練習を行ったり課題に取り組んでいます。私はピアノ未経験なため、練習して上達できるように頑張っています。また、友達を呼んで教えてもらうこともあります。

最近行ったところは？

最近は友達と一緒に近くの水泳場に行きました。高校まで部活をやっていましたが、大学に入ってから運動量が落ちてしまったため、時間がある時は運動をしています。また、その水泳場では広場があるため、泳いだあとにフリスビーなどを行っています。とにかく空いてる時間に運動を行い、気分のリフレッシュや運動不足解消を大切にしています。



地域連携推進センター通信

浜松市との連携事業～大学生による講座

聖隷クリストファー大学は、浜松市が企画・推進する事業「浜松市と大学との連携事業～大学生による講座」に参加しています。この事業は、市民と大学生が生涯学習を通じて自分の成長や能力の向上を図り、その学びの成果を地域づくりにつなげていくことを目的に行われています。2023年度は下記の6講座11回を実施中です。



講座名	対象	担当学科	会場
認知症予防～ゲームやクイズで楽しく 認知症予防をしてみませんか～	どなたでも	看護学科	北部協働センター
自分のカラダとの上手な付き合い方	更年期女性	助産学専攻科	南部協働センター
英語を楽しもう Let's enjoy English!	幼稚園児～ 小学2年生	こども教育 福祉学科	中瀬協働センター
足腰を鍛えて健やかな生活を送りましょう	高齢者	理学療法学科	竜川ふれあいセンター、細江協働センター
自分の体の使い方を知ろう ～走力・体力アップのヒント～	小学1～ 6年生	理学療法学科	二俣協働センター、三ヶ日協働センター
認知症予防『海馬を鍛えよう』	どなたでも	作業療法学科	水窪協働センター、高丘北会館 南陽協働センター、神久呂協働センター

2022年度地域連携事業報告

本学では、「保健医療福祉分野に係る全ての人たちとの共同事業・研究」を推進するために、保健・医療・福祉・教育の実践現場との連携のもとに行う地域の課題解決に向けた事業を募集し、毎年採択しています。



課題名	代表者(職位)
領域の異なる多職種連携による在宅医療・介護連携推進事業～神経難病療養者が住みやすい浜松を創る～	河野 貴大(助教)
本学学生を中心とした「きょうだい会」設立	福田 俊子(教授)
こどもの感性と創造性を育む五感をととした美的経験によるアートプログラム開発	鈴木 光男(教授)
地域包括ケアシステムにおける社会資源アプリの開発	矢倉 千昭(教授)
保育場面における感覚統合理論を基盤とした遊びの実践	伊藤 信寿(教授)
発達障がい児に対する余暇活動の実施	伊藤 信寿(教授)
作業経験の自分史が高齢者に与える効果の探索的研究	鈴木 達也(助教)
リハビリテーション学部における産学連携による教育・実践モデルの構築	飯田 妙子(助教)
かけがわ健活プロジェクト～茶々と健康測定～	柴本 勇(教授)

作業経験の自分史が高齢者に与える効果の探索的研究

リハビリテーション学部 助教 鈴木 達也

作業療法学科の高齢期作業療法演習では2018年から近隣施設の協力を得て自分史作成プログラムを行っています。自分史は回想法的な効果があり、高齢者がこれまでの人生を振り返り前向きに生きることに繋がるため介護福祉分野で取り入れられています。作業療法学科の自分史ではその方の歴史だけでなく、趣味などその人にとって価値がある作業に焦点を当てて行ってきました。偶然にもこれまでの参加者に浜松北地域まちづくり協議会の人に参加されており、地域住民を対象に行ってほしいと依頼があり、作業療法学科学生11名と本事業を行うことになりました。同時に本事業は自分史の効果を明らかにするため、心理面の評価やアンケートを行い分析しました。

今回の結果を元にプログラムを改良して2023年度も9月に浜松北地域まちづくり協議会と協同してプログラムを行う予定です。



新任教員の紹介

①出身校 ②前任校・前勤務先 ③専門分野 ④メッセージ

看護学部 看護学科
成人看護学

かわぐち こ
河口 てる子 教授



①東京大学大学院医学系研究科博士後期課程②日本赤十字北海道看護大学③慢性看護学④40年前に慢性疾患患者の自己管理教育に携わった時の疑問や課題を、今も検討し続けています。意義のある実践・研究には、本当に長い検討の時間がかかります。焦らず、腐らず歩み続けることこそ、人々の健康に役立つ看護実践に結びつき、実践の科学である看護を発展させるのだと思います。一緒に活動しましょう。

看護学部 看護学科
養護教諭課程

いけなが り え こ
池永 理恵子 教授



①川崎医療福祉大学大学院医療福祉学研究科博士後期課程②関西福祉大学③学校保健学④学部の養護教諭養成科目、大学院の地域看護学領域(学校保健)を担当しています。教育現場の多様なニーズをもつ子ども達に対して、看護の知識や技術を生かして支援することの大切さや教育の仕事の楽しさをお伝えできたら、と思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

看護学部 看護学科
老年看護学

ないとう ともよし
内藤 智義 准教授



①浜松医科大学大学院医学系研究科博士課程②浜松医科大学臨床看護学講座③老年看護学④認知症の高齢者が「その人らしく、心地よく排泄する」ことを支えるケアを目指し、使命感をもって研究しています。超高齢社会の我が国を支える役割を担う学生の皆さんに、老年看護の魅力・やりがいを伝えられるように努めていきます。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

看護学部 看護学科
公衆衛生看護学

ながやま ひかる
長山 ひかる 助教



①浜松医科大学大学院医学系研究科修士課程②浜松市③公衆衛生看護学④20年ぶりに母校に教員として戻ってまいりました。保健師は、地域の中で活動していく看護職です。集団への支援、個別支援を通して、地域の健康問題に目を向けてアプローチをしていきます。保健師の仕事の必要性や魅力を学生の皆さんにお伝えできるように頑張ります。学生の皆さん、一度しかない大学生活で様々な経験をして過ごしてください。

リハビリテーション学部
言語聴覚学科

クリスティーナ クラモト
Christine Kuramoto 准教授



①The University of Birmingham, UK (MA TEFL)②浜松医科大学③医学英語、一般英語、サービスラーニング④何年もの間、夫の仕事の都合で引っ越しをし、私も何度か職場を変えました。熊本、佐賀、福岡、浜松、そして横浜で楽しく教えてきました。今は浜松に定住し、聖隷クリストファー大学の愉快的な学生たちに教えられることを光榮に 생각합니다。私の学生へのメッセージは、人生は想像もしなかった場所に連れて行ってくれるかもしれない旅だということです。柔軟性を持ち、道のりの一步一步を楽しんでください！

リハビリテーション学部
言語聴覚学科

いとう ち さ
伊藤 千紗 助手



①聖隷クリストファー大学リハビリテーション学部②天竜すずかけ病院③言語発達障害学、成人の言語障害④8年ぶりに母校に戻って参りました。一度社会を経験し母校のありがたみを実感しています。隣人愛を通して患者様への思いを伝えていきたいです。また、生きづらさを感じている方が少しでも生きやすい世の中となるよう尽力していきたいと思っています。よろしくよろしくお願いいたします。

国際教育学部
こども教育学科

うちやま さとし
内山 敏 准教授



①大阪大学大学院連合小児発達学研究科博士後期課程②浜松市発達相談支援センターピロ③臨床心理学を用いた心理アセスメントとカウンセリング、心理教育(対象であれば全年齢層の精神障害全般)④キャリアの半分は精神科医療、もう半分は発達障害者支援に携わってきました。心身の不調は本人だけでなく、家族や関係する人たちにも波及しますので、ここで学ぶ学生たちには学問の楽しさや奥深さを知ってもらうのはもちろん、人に関わる専門家として広い視野を持ち地域に貢献できる人材になってほしいと思っています。

国家試験 対策

国家試験合格率100%に向けて、 充実のバックアップ体制!

1年次から4年次まで、独自の対策プログラムで国家試験合格まで徹底サポート。
各学科との連携による国家試験対策を強化し、確実に実力をつけていきます。

看護学部

国家試験対策

- ◆定期的なガイダンス開催 ◆学内模試 ◆全国業者模試 ◆教員による勉強会
- ◆12月必修特訓 ◆1月直前特訓 ◆学生国試委員による活動 ◆外部講師による有料講座
- ◆個別相談・指導 ◆国試受験報告会

◆教員による国試勉強会

教員による勉強会は、10月から12月中旬まで、4年次生を対象に20回実施しています。学生国試委員10名が手分けをして、教員に講師を依頼し、勉強会開催日時調整も学生が行います。依頼を受けた教員は、最新の国試の出題基準を確認し、過去問の出題傾向なども踏まえて、国試の勉強会の準備を行います。わかりやすい内容に、国試の勉強に役立つと学生からとても好評です。



学内模試を実施している様子

社会福祉学部

国家試験対策

- ◆模擬試験 ◆WEBによる有名講師の対策講座 ◆本学教員による対策講座
- ◆卒業生による合格体験談・不合格体験談

◆WEBによる対策講座

2023年度から、WEB動画配信による対策講座を導入しました。「どこでも、何度でも、繰り返し視聴できる」「適切な(効果的な)タイミングで配信できる」という動画配信講座の強みを最大限活かせる形で、運用を始めています。

また、8月以降、6回の模試を効果的なタイミングで実施し、独自の分析結果をフィードバックしています。そのほか、秋セメスターに実施している学内の専門科目担当教員による対策講座は、例年学生から高い評価を得ています。



模擬試験の様子

リハビリテーション学部

国家試験対策

- ◆模擬試験 ◆外部講師による対策講座
- ◆グループ学習 ◆個別指導

◆グループ学習

リハビリテーション学部では、学科ごとに国家試験対策を行っています。各職種の国家試験は非常に広い範囲から出題されます。学生は得意・不得意科目があり、さらに学習スタイルも様々です。

グループ学習は、主体的かつ積極的な学習活動への参加を促すとともに、学生が援助し合って学習することにより、学習効果が高まることを期待し、早期から取り入れています。教員は各グループの状況を把握し、適宜指導・助言を行っています。



外部講師による対策講座の様子

私たちの国家試験合格ストーリー

国家試験に合格するためにどのような勉強をしたのか、先輩たちに語っていただきました。

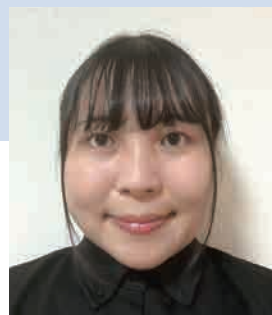
看護学部

さとう あいり

佐藤 愛莉さん

看護学科 2022年度卒業

〔勤務先〕牧之原市役所 〔取得資格〕看護師、保健師



両親が「あなたならできるよ」と 肯定的に受け止めてくれたことがとても嬉しかったです

私は国家試験に向けて、毎日保健師と看護師の両方を勉強するように心掛けました。主に過去問題集やアプリ、学内模試を活用しました。分からない問題は、図書館で調べたり先生に質問し解決するようにしました。また友達と問題を出し合いアウトプットも行いました。

私は在学中一人暮らしでした。勉強で辛い時は、離れて暮らす両親に話を聞いてもらいました。両親が「あなたならできるよ」と肯定的に受け止めてくれたことがとても嬉しかったです。家族からの温かい言葉は、きっと受験を乗り越える力につながると思います。

社会福祉学部

なが お み き

長尾 美紀さん

介護福祉学科 2022年度卒業

〔勤務先〕沼津中央病院

〔取得資格〕社会福祉士、精神保健福祉士



家族が自分の頑張りを褒めてくれたのがとても嬉しく モチベーションの維持になりました

私はまず、過去5年分の問題集を解き、どのような傾向で問題が出されるのかを把握するようにしました。間違えた箇所をまとめ、選択肢のどこが間違っているのかを説明できることを目指し、繰り返し問題を解きました。また、図書館やカフェなど勉強の場所を変えて、自分が集中できる環境を把握することもしていました。

家で勉強をしていると、家族が自分の頑張りを褒めてくれたのがとても嬉しくモチベーションの維持になりました。ぜひ、お子さんには前向きな声かけをしてあげてください。

リハビリテーション学部

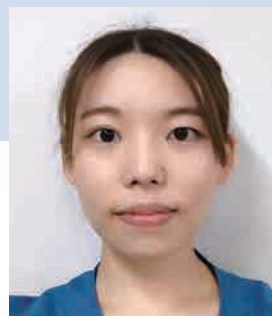
しみず さくら

清水 咲良さん

理学療法学科 2022年度卒業

〔就職先〕聖隷三方原病院

〔取得資格〕理学療法士



成績の伸び悩んでいたメンバーが合格圏内を取れたときが 特に嬉しかったです

過去問を解いてわからなかった問題に関する動画を見る、を繰り返しました。過去問を2周終えた頃から徐々に成績が伸び始めました。私はグループリーダーをしていたため、成績の伸び悩んでいたメンバーが合格圏内を取れたときが特に嬉しかったです。

成績が伸びるタイミングは人それぞれなため、友人たちと相談をしづらくなります。そのため、成績に関する悩みは家族に話すことが多かったです。国家試験はご家族の皆様もとても緊張すると思います。ですが、いつもどおり温かく見守ってくださることが何よりも受験生の力になると思います。

専門学校通信



実習体験記

1年次生 むらまつ ちさと 村松 千聖さん 実習先／聖隷厚生園讃栄寮

今回、私は聖隷厚生園讃栄寮で実習させていただきました。初めての实習なので、利用者さんと上手に話せるか、実習の目的を達成できるか不安でしたが、実習先の職員さんは優しく教えてくださり、充実した実習になりました。

救護施設ということもあり、コミュニケーション中心の実習でしたが、コミュニケーションも大切な介護技術であるということ学ぶことができました。特に、利用者さんの真のニーズを引き出すためには、信頼関係を築くことが大切であることを学ぶことができました。私は、利用者さんと信頼関係を築くために、常に笑顔でいることと元気な声であいさつをすることを心がけました。利用者さんが笑顔であいさつを返してくださった時は、とてもうれしく感じました。実習が終わった後も、実習報告会の準備や課題、定期試験などいろいろとやることが山積みですが、立派な介護福祉士になれるように頑張りたいと思います。



専門学校トピックス

生活支援技術I

尊厳の保持や自立支援、生活の豊かさの観点から、本人主体の生活が継続できるよう、根拠に基づいた生活支援を行うための知識・技術を習得する科目です。

どのような状態にあっても、その人にとっての自立・自律を探究する力や、潜在能力を引きだすことや見守ることも含めた技術の習得のために、利用者役・介助者役・観察者役の多面的な体験を通して学びます。授業で学んだ内容は、自身の日常生活に関連付けて、繰り返し実践をしていきます。



スポーツ大会

5月19日体育館にて、社会福祉学部社会福祉学科と専門学校との合同スポーツ大会が開催されました。スポーツ大会は、同じ福祉を学ぶ者同士が楽しみながら体を動かし交流する目的で行われています。感染症対策のため、4年ぶりに開催となりました。“玉入れ”“ゾウさんバトンリレー”“知恵の輪めがけてあっちへGO!”など、運動が得意な人も苦手な人も誰でも気軽に参加できるように工夫されたプログラムで、笑顔溢れる時間となりました。



2022年度卒業者の就職・進学状況

2022年度に卒業した23名の学生のうち、就職者は20名、進学者は3名でした。進学した3名は、いずれも聖隷クリストファー大学社会福祉学部社会福祉学科に進学(3年次編入学)しました。

就職・進学支援プログラムについて

専門学校は入学から就職活動開始までの期間が短いことから、1年次生の5月から就職などに関する支援プログラムを実施しています。

1年次生

2023年5月	社会人になるための基礎講座 社会人マナー講座 スーツ着こなし講座 メイクアップ講座(希望者)※動画視聴
10月	2年次生による就職活動報告会
11月	卒業生と在学生との懇談会
12月	履歴書の書き方、面接の受け方講座 聖隷クリストファー大学社会福祉学部への編入学説明会
2024年3月	福祉系の法人・施設などを招いての説明会

2年次生

内定を頂いた2年次生を対象とし、2月に「就職内定後の心構え、社会人としての心構え」のプログラムを実施しています。

卒業生数 (名)	就職 希望者数 (名)	進学 希望者数 (名)	就職・ 進学者数 (名)	就職・ 進学率 (%)
23	20	3	23	100



お知らせ

専門学校に届く求人票の情報は、登録者に対して配信される「求人情報配信システム」によりお知らせしています。ご家族の皆さまもご登録いただくことができますので、情報提供を希望される方は、大学ホームページ「就職・キャリア」(<https://www.seirei.ac.jp/career/>)の「求人情報配信システムへ登録」からご登録ください。

お問い合わせ先

聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校
キャリア支援センター

TEL:053-436-7233 FAX:053-437-6782

E-mail:career@seirei.ac.jp

One Day in Seirei

介護福祉専門学校生のとある一日

みやぎ ひかり
1年次生 宮城 光さん

グループワークでは、互いに学びあう環境ができています。

明るく個性的な仲間たちと元気に過ごしています。授業では、クラス全員が前向きに授業に取り組み、積極的に発言をしたり、わからないことは周りの人と相談したりしています。特に私達らしさがわかるのは、グループワークの時です。どのような組み合わせになっても1人に全て任せてしまうということはず、全員で協力して行います。各グループの発表が終わった後は、自然と拍手をしたり意見を伝えることで、互いに学びあう環境ができています。実習では、高齢者領域・障害領域の施設で、生活の様子や職員の方の仕事内容などを直接学ぶことができます。準備に多くの時間を要しましたが、実習中は実習日誌を記入し振り返りを毎日行いました。実習指導者様、先生方と一緒に介護福祉士を目指す学生の力を借りて、より良い実習をすることができました。



🕒 8:30 朝

毎朝行われる礼拝では、ヒムプレーヤーの準備や礼拝の進行などを学生の力でを行っています。



🕒 12:00 昼食

教室で仲の良い人と集まって食べたり、学食へ食べに行ったりしています。



🕒 14:00 午後

午後になると疲れてきますが、実習で困らないように学んでいます。

研究の紹介

『K君からの宿題』を果たすために決めた、 博士後期課程への進学



看護学部
看護学科 教授

宮谷 恵

K君との出会い

私の主な研究テーマは「医療的ケアを必要とする子どもとその家族への支援」です。もう20年以上前のことになりますが、このテーマを私に与えてくれたのは、当時1歳のK君でした。私は人工呼吸器をつけて在宅生活を始めたばかりの、K君のボランティアの一人でした。この時はもちろんこの出会いが自身の長年の研究テーマになろうとは、想像もしていませんでした。小児内科とNICUの看護師の経験を経て教員になったばかりだったので、人工呼吸器の管理も医療的なケアも慣れており抵抗はありませんでした。K君の母親がそれらを行っていることを大変だろうとは思いましたが、一方で病院でちゃんと習って頑張れば家族でもやっていけることだと思っていました。しかしそれが大きな間違いだったことを、その後私は思い知らされることになりました。

知らなかった在宅ケア

在宅が病院と決定的に違うのは、そのケアを「家族が24時間休みなく行わなければならない」ことで、病院でそれができていたのは、看護師が交代していたからだという当たり前のことに、私は当初考えが及んでいませんでした。今にして思えば何と考え足らずだったのだろうか、申し訳なく思うばかりです。当時の病院の看護は入院している間がほぼすべてであり、退院後の生活がどうなっているのかについて看護師の認識は浅く、私も知る由はありませんでした。

『K君からの宿題』を研究テーマに

人工呼吸器が必要な子どもの在宅ケアを24時間行う生活は、家族が介護に追われて休息も睡眠もままならず健康を害したり、様々な医療機器を持って子どもと外出をすることも難しく、QOL(クオリティー・オブ・ライフ:生活の質)の概念とは程遠い状況でした。私にとっては衝撃的だったこれらのことを、学会で発表することで知ってもらおうとK君の母親の協力を得て準備を始めた矢先、K君は急逝してしまいました。それも病気が原因ではなく、介護疲れで体調を崩した両親が無理して介護を続けた結果、十分なケアができなくなったことが原因でした。医療的ケアを必要とする子どもとその家族の、在宅生活への支援が明らかに不十分であったという事実、私はこのときはっきりと気づかされ、以来『K君から

の宿題』として私の研究テーマになりました。

当時はまだ看護の研究は病院での看護が主流で、在宅での看護は知る人が少なくマイナーな領域でした。私は在宅で医療的ケアを必要とする子どもとその家族の生活の現状と支援の必要性を知ってもらうために、その様な子どもと家族が所属する患者会の協力を得ながら調査と発表をしてきました。具体的には、病院から在宅への移行についての研究(1998,2000,2001,2002年)や、在宅移行数年後の介護や家族の状況についての研究(2003,2005,2008年)を行ってきました。研究の最初のころは、医療的ケアを必要とする子どもの在宅生活は始まったばかりで周囲から理解されにくく、在宅での人工呼吸療法なんてあるの? レスパイトって何? と言われながらの研究・発表でした。

研究テーマへの気づきから博士後期課程へ

その後約15年が経過し、日本の医療全体が入院から在宅へという流れになったのもあり、医療的ケアを必要とする子どもの在宅移行も全国的に進み、看護の研究も在宅分野の占める割合が大きくなってきました。一方で医療的ケアを必要とする子どもと家族の在宅生活の現状・窮状は知られるようになったけれど、支援については「不足しているので充実が期待される」のような結論で終わることが続き、虚しさを感じるようになっていました。このころから数年間、私は家庭との両立や自身のメンタルが不調になったこともあって、この研究テーマについて何もできない状況が続きました。そして個人的な状態が改善してきて博士後期課程への進学を考え始めた時、やっぱり『K君からの宿題』が頭をよぎりました。このテーマについて私にできることはもうないように思っていたのですが、私が何もできない間に、幼児期に病院から在宅での生活に移行した子どもたちが成人期を迎えていることに気づきました。医療的ケアを必要とする子どもが長年在宅で生活をしてきた中には、家族の介護の苦勞・困難が多くあったことが想像されます。つまりそのような状況をどう乗り越えてきたかの逆のぼって調べれば、在宅で医療的ケアを必要とする子どもとその家族への必要な支援が分かるのではないだろうか。この気づきが、私の博士後期課程への進学の大きな動機づけになりました。そして研究のテーマは「医療的ケアのある障がい児を成人期まで在宅で養育してきた家族のレジリエンスを構成する要素に関する研究」になりました(レジリエンスとは、逆境にもかかわらず立ち直ったりうまく対処する能力のことです)。

K君と母親たちへの感謝

家庭とフルタイムの教員の仕事をしながらの博士後

期課程への進学は確かに相当大変でしたが、中途半端になっていた『K君からの宿題』ができるという喜びと、医療的ケアを必要とする子どもを介護している休息も睡眠もままならない母親たちが、私のために時間を割いて語ってくれたことを無駄にしたくない、という思いで研究を進め論文を書き上げ、修了することができました。論文のテーマは「医療的ケアを必要とする障がい児の長期在宅支援に向けた家族レジリエンスに関する研究—小児期から成人期にまで至る支援を目指して—」となりました。K君のお墓参りは毎年数回欠かさず行っていましたが、博士課程の間は行くたびに「研究がちゃんとできますように。」「論文が書けますように。」とお願いばかりしていました。そして博士論文の発表会にはK君の母親に来てもらうことができ、論文の謝辞には「私が初めて出会った、在宅人工呼吸療法をしていた今は亡きK君と、そのご家族の皆様には、私に20年以上にわたる研究テーマを与えていただきました。支援者としてはお役に立てませんでした。K君とご家族に教えていただいたことをもとに、今までの関連研究と共に、本研究をさせていただいたことを、改めて感謝申し上げます。」と書かせていただきました。K君に長年にわたる研究テーマを与えてもらい、博士後期課程でそのテーマの集大成のような研究をさせてもらえた私は本当に恵まれていたということに、今回改めて気づかされました。

研究も看護の一つの形

研究や進学についてあまり理解していなかった頃の私は、対象者への真摯な日々の実践こそが看護として素晴らしいもので、大事なものは研究や進学ではないと思っていました。しかし人を取り巻く時代の状況と看護が複雑化する現代では、一人の看護者がそれこそ独りよがりで行っていてはよりよい看護になり得ません。多くの看護実践から根拠ある知恵を共有してこそよりよい看護を対象者に提供できる、そのためにはしっかり手順を踏んだ信頼される看護の研究をして発表していく必要があるのだと思えるようになりました。また私が博士後期課程で行った研究は、私には博士後期課程に進学しなければできなかった研究でした。私にとっては日々の仕事の中で片手間にできる研究ではありませんでしたし、そうしたくないテーマでした。看護学生の皆さん、看護職の皆さんにも、私にとってのK君のような出会いがきっとあると思います。日々の看護実践だけでなく、看護の研究をして発表していくことも、対象者により良いケアを提供することにつながる看護の一つの形です。看護を研究することや進学について、ぜひ考えてみていただければ嬉しいです。

活躍する卒業生・修了生

ご家族が不安や困りごとを吐露できるような
関係づくりに努めています



聖隷おおぞら療育センター
小児看護専門看護師

真木 希様

聖隷クリストファー看護大学
看護学部看護学科卒業
聖隷クリストファー大学大学院 看護学研究科
看護学専攻博士前期課程 看護学分野修了

私が看護師としての道を歩み始めて約20年が経過しました。現在、聖隷三方原病院内の聖隷おおぞら療育センターに所属し、主に入所および短期入所の重症心身障害児(者)の看護に携わっています。重症心身障害児(者)との出会いは、看護学生時代に参加した夏休みのデイケアでした。小児看護の課題の一つとして参加したデイケアでしたが、「この子どもたちの看護がしたい、絶対に看護師になりたい」と思うきっかけになり、現在に至っています。

重症心身障害児(者)の看護を10年以上経験した頃から、看護師としての成長に伸び悩みを感じ始めました。その当時から、人工呼吸器管理など濃厚な医療的ケアを要する子どもたちのよりよい生活を提供する看護を大事にしてきました。一方で自分だけが満足している看護にすぎないのではないかという疑念も抱いていました。看護師としての成長の停滞は、大学院進学を考え始めたきっかけの一つとなり、思い切って大学院進学を決めました。

大学院では、多様な領域の同期に恵まれました。多領域の同期とのディスカッションを通じて、狭く偏った自分自身の看護観や価値観に気づくことができました。専門看護師を目指す過程では、これまで隠していた弱さやずる

さが露呈し、できない、わからない、言語化できない自分と向き合うことになり、大学院生活の中で最も苦しい時間でした。小児領域の先生方の手厚いサポート、同期や小児看護専門看護師の先輩方の支え、重症心身障害児(者)や子どもたちの看護を続けたい思いがなければ、大学院の修了も小児看護専門看護師の認定も得られなかったかもしれません。

小児看護専門看護師として3年目になりました。年々、重症心身障害児(者)や医療的ケア児は増加し、重症心身障害児(者)の看護や支援へのニーズの高まりを感じます。重症心身障害児(者)の看護実践では、ご家族が子どもを安心して預けることができるように、一人ひとりの状態に応じた看護ケアの提供を大切に、ご家族が不安や困りごとを吐露できるような関係づくりに努めています。また、小児病棟や外来からの相談時には、不安やトラウマなど心のケアを要する子どもたちのケアに携わり、必要時は専門家に相談しながら、子ども自身とご家族の気持ちの回復を支援しています。重症心身障害児(者)や医療的ケア児を含めたあらゆる状況にある子どもたちと家族のニーズにこたえ、自分らしく成長・発達していくことを支援できる小児看護専門看護師に成長していきたいと思います。

リカレント教育のご案内

聖隷クリストファー大学および大学院は、卒業生の皆さんが保健・医療・福祉・教育の専門職者として活躍し続けるために一層専門性を向上させ、最新の知識・技術を身につけていくことを支援しています。こちらで紹介している公開講座等は、ご興味があればどなたでもご参加いただけますので、ぜひこの機会をご利用ください。

こちらに掲載している内容は2023年9月時点の予定です。最新の情報は大学ホームページ「研究・地域連携」→「リカレント教育・勉強会」(<https://www.seirei.ac.jp/cooperation/recurrent/>)をご覧ください。



公開講座・セミナー

大学院看護学研究科 公開講座 **キーワード：看護研究**

大学院進学を視野に看護実践をされている看護職の方を対象に「研究的な視座を持つ臨床の実践者」「研究的な視座を持つ看護教育者」に必要な基礎的な研究のための公開講座を開催します。

大学院での学びの中心となる研究に視点をおき、研究の芽の育て方、理論や倫理を踏まえた研究計画書を作成するプロセス、学会発表に必要なスキルなどより具体的な内容で研究に関する講座を企画します。詳細は後日ホームページ等にて公開します。

日時：11月25日(土)13:00～16:00

会場：聖隷クリストファー大学5号館(ハイブリット開催)

対象者：大学院進学を目指す方、研究に興味のある看護職の方

定員：20名程度

問い合わせ先：キャリア支援センター E-mail:career@seirei.ac.jp

お申し込み先：大学院ホームページよりお申し込みください。 <https://www.seirei.ac.jp/graduate>



大学院社会福祉学研究科 講演会(公開講座) **キーワード：子ども支援**

子どもの意見を尊重する『子どもアドボカシー』とは

子どもアドボカシーとは、子どもが話したいことを自ら話せるように支援したり、子どもの思いや意見を代わって表明することです。児童福祉法の改正により、2024年から社会的養護の子どもたちの声を聴くための制度がスタートします。今回このような子どもの意見を尊重することが児童福祉法の中に盛り込まれたことはとても大切なことです。こどもの意見表明権は「こどもの権利条約」に位置付けられている基本的な権利だからです。子どもの声を社会に反映させるためには、あらゆる子どもに対して子どもアドボカシーが必要です。保護者や保育士、教師など子どもに関わる全ての人が子どもアドボカシーの理念と実践を学ぶ講演会を開催します。

日時：11月11日(土)13:30～16:00

会場：オンライン開催

対象者：子どもと家庭への支援者、関心のある方

定員：200名

講演：「子どもアドボカシーの理念と実践」

講師：栄留里美氏

大分大学福祉健康科学部講師、子どもアドボカシー学会副会長。博士(社会福祉学)、単著に『社会的養護児童のアドボカシー』(明石書店、2015年)、『アドボカシーってなに?』(解放出版、2021年)『子どもアドボカシーと当事者参画のモヤモヤとこれから』(明石書店・2021年)など



問い合わせ先：キャリア支援センター E-mail:career@seirei.ac.jp

お申し込み先：大学院ホームページよりお申し込みください。 <https://www.seirei.ac.jp/graduate>

大学院リハビリテーション科学研究科 公開講座 キーワード：臨床研究

臨床に携わる専門職は、日々の患者さんの診療の中で、多くの疑問を持っていることと思います。また多くの臨床家が研究疑問の解決をめざして研究に取り組んでおられますが、実際に研究を始めようとなると、さまざまな課題や悩みが生じてくると思います。本講座では地域の実践現場で研究を進めようと考えておられるリハビリテーション専門職の方々を対象に、研究への具体的手がかりを得られるプログラムを提供したいと思います。日常感じておられる疑問や課題解決の第一歩としてご利用いただければと思います。

日 程：12月2日(土)

※詳細が決定次第、大学院ホームページ等でご案内いたします。

<https://www.seirei.ac.jp/graduate>

作業療法学科・大学院 作業療法学分野 仕事帰りのミニ公開講座 キーワード：臨床疑問 『作業療法学分野における研究法「超」入門』

臨床業務の中で、多くの疑問が生まれると思います。そのような時に、「その疑問をどのように形にしたら良いのか?」、「現在手元にあるデータで何が分かるか?」等の悩みが生じてくると思います。本講座では、特に作業療法学分野での研究をもとに、それらの解決のヒントになるような講座を提供したいと思います。日常感じておられる疑問や課題解決のはじめの一歩としてご活用いただければと思います。2時間という短時間ですので、お気軽に受講ください。

日 時：12月12日(火) 18:00～20:00

会 場：聖隷クリストファー大学およびオンライン

対象者：リハビリテーション領域の研究に関心のあるリハビリテーション専門職の方

問い合わせ先：キャリア支援センター E-mail: career@seirei.ac.jp

お申し込み先：大学院ホームページよりお申し込みください。 <https://www.seirei.ac.jp/graduate>

言語聴覚学科・大学院 言語聴覚学分野 オンライン公開講座 キーワード：評価治療

言語聴覚障害の評価治療理論は年々発展しています。本講座では、本学の教員より最新の理論や技法を紹介します。医療・福祉・教育現場に携わるセラピストや教員の皆さんはもちろん、看護師や介護福祉士など様々な職種の方にご参加いただきたいと思います。また身近に障害を持った方がいらっしゃるなど、一般の方のご参加も可能です。

※詳細が決定次第、大学院ホームページ等でご案内いたします。

<https://www.seirei.ac.jp/graduate>

図書館データベース講習会 キーワード：論文検索

「データベースを利用した研究に役立つ情報収集 入門編」

日 時：9月14日(木) 19:00～19:30、12月2日(土) 10:00～10:30

会 場：聖隷クリストファー大学図書館

対象者：地域の保健医療福祉専門職の方

問い合わせ先：聖隷クリストファー大学図書館

TEL: 053-439-1416 E-mail: cl-library@seirei.ac.jp

雑誌の論文・記事等を探することができるデータベースの利用方法についての講習会を企画しました。医中誌WebやCiNii Researchを中心に日本語データベースとその利用方法について図書館司書が説明します。ぜひご参加いただき、院内での研究や日頃の業務にお役立てください。講習会の日時や内容につきましては、ご希望に応じますのでお問合せください。

関連学会

第14回せいの看護学会 学術集会 **キーワード：看護研究**

テーマ：「異業種コラボレーションと私たちの看護の未来」

日 時：9月16日(土)10:00～16:00

場 所：聖隷クリストファー大学

大会長：春日三千代(袋井市立聖隷袋井市民病院 看護部長)

プログラム 〈シンポジウム：異業種コラボレーション～WIN・WIN・WIN～〉

〈ワークショップ〉メディカルムーバーMasSと看護のコラボレーション

〈交流集会〉・異業種コラボレーションへの仕組みづくり

・新人看護師、現任教育実践者、教育研究者が参画する看護基礎教育から現任教育への連携
～当事者視点から課題を語る～

・中東遠地域の看護連携を考えるー理想的な地域共生社会をめざしてー

〈一般演題〉研究報告、実践報告

※詳細は学会ホームページをご確認ください。

<http://www.seirei-sons.com/index.html>



前年度の様子

聖隷クリストファー大学社会福祉学会シンポジウム2024 **キーワード：ハラスメント**

テーマ：「介護現場におけるハラスメント対策」

毎年3月にシンポジウムを開催しています。皆様のご参加をお待ちしております。

※詳細が決まり次第学会ホームページへ掲載しますので、ご確認ください。

<https://blg.seirei.ac.jp/shakaihukusi/>



第9回聖隷クリストファー・リハビリテーション学会学術大会 **キーワード：高齢者リハビリテーション**

テーマ：「高齢者の生活を支えるリハビリテーション～連携とは気づけばそこにあるもの～(仮)」

日 時：2024年3月2日(土)9:30～15:30(予定)

場 所：聖隷クリストファー大学

大会長：植松佑輔(リハビリテーション学部6期生、
介護老人保健施設たんぽぽ、作業療法士)

プログラム 〈シンポジウム〉

〈基調講演〉

〈一般演題〉

※詳細は学会ホームページをご確認ください。

<http://www.scsrs.sakura.ne.jp/>



同窓会主催セミナー

社会福祉領域「原点回帰:生活場面での認知症ケアの基本」 キーワード: 認知症

認知症の利用者に対して、心理状況や認知機能など個別性に配慮を行わず、ケアが行われている現状があります。良いケアを提供することは、ご利用者にとってのQOL向上は勿論のこと、介護者側にも温かい感情が芽生えます。今一度、ケア時の声かけに対する意識について原点回帰し、利用者の意欲向上、能力活用などを考える場としたいと思います。セミナーの中では、「中核症状」と「行動・心理症状」の基礎知識を振り返りながら、認知症を深く理解することでケア実践への気づきにつなげます。

日 時: 2024年2月17日(土) 10:00~11:30

会 場: 聖隷クリストファー大学 および オンライン

講 師: 社会福祉学部 野田由佳里教授(社会福祉学科長、介護福祉専門学校長)

対象者: 同窓会および一般の方

定 員: 50名(予定)

看護領域「もしかして、こころの病? こころのケアについて考えよう」 キーワード: 精神疾患

こころの病が、「癌、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病」と並ぶ5大疾患となって10年となりました。こころの病を有する患者の総数は、日本人の400万人以上で、国民30人に1人くらいになります。しかし、まだまだこころの病は、よくわからないものとして扱われ、社会的に理解されているわけではありません。

そこで本セミナーでは、こころの病とはどのような状態なのか、こころのケアとはどのような営みか、などを中心にお伝えたいと考えています。ストレス社会の中において、こころの病は特別なことではありません。皆さんもこころの病、こころのケアについて考えてみませんか。

日 時: 2024年2月17日(土) 13:30~15:00

会 場: 聖隷クリストファー大学 および オンライン

講 師: 看護学部 清水隆裕准教授

対象者: 同窓会および一般の方

定 員: 50名(予定)

リハビリテーション領域

「多職種におけるリハビリテーション-連携の中のジレンマと解決のための方略-」 キーワード: 多職種連携

リハビリテーションにおける多職種連携と連携の中で用いることができる理論についてお話しいたします。

日 時: 2024年3月2日(土) 11:00~12:30

会 場: 聖隷クリストファー大学

講 師: 寺岡睦先生(吉備国際大学保健医療福祉学部作業療法学科講師)

対象者: 同窓会および一般の方

定 員: 100名(予定)

その他

聖隷クリストファー英会話スクール キーワード: 英語 グローバル

聖隷学園では地域の皆さまの生涯学習の貢献を目的として英会話スクールを35年以上開講しており、今まで約1,300名以上の方が受講されました。高校生からシニアまで幅広い年代の方が在籍しています。英会話がもう少しできたらと考えている方、楽しいレッスンで会話能力を高めてみませんか?本スクールはご都合やレベルに合わせて5クラス開講しています。レッスンの場所は聖隷クリストファー大学5号館です。クラスや講師、年間スケジュール等の詳細につきましてはHPにてご確認ください。

【お問い合わせ先】聖隷学園 法人事務局 TEL:053-436-5311



勉強会・研究会

臨床や福祉実践の中で生じた課題・疑問について仲間と共有し、学び直し、スキルアップを目指してみませんか？
問い合わせ・参加については、大学ホームページ「研究・地域連携」→「リカレント教育・勉強会」

(<https://www.seirei.ac.jp/cooperation/recurrent/>)をご覧ください。

聖隷CNS事例検討会 キーワード：専門看護師 CNS

本学大学院看護学研究科博士前期課程CNSコースを修了し、現在活躍中のCNSや、CNSを目指す院生等が集い、複雑な問題を抱える患者・家族への看護介入事例の検討を通して、看護実践力のブラッシュアップに励んでいます。本会の構成メンバーの多くはがん看護CNSですが、小児看護CNS、慢性疾患看護CNS、急性・重症患者看護CNS、老人看護CNSなど、他分野のCNSも参加しています。CNSを目指したい、とお考えの看護師の皆さま、事例検討会に参加してみませんか。

開催日時：年4回（6・9・12・3月） 場所：聖隷クリストファー大学

静岡県精神科作業療法研究会 西部地区勉強会 キーワード：精神領域

西部地区に勤務する精神科作業療法士を中心に、実践報告や情報交換の場として、2008年6月より開始。プログラムの紹介や困難事例の検討など、新人からベテランまで、精神保健福祉士や看護師の参加もあります。

開催日時：奇数月の第3金曜日（原則）19:00～21:00

浜松QOL研究室 キーワード：作業療法 生活の質(QOL)

作業療法の対象となる方々の、生活の質(QOL)についての研究をしています。具体的には、作業療法をはじめとするリハビリテーション介入がQOLに及ぼす影響や、対象者のQOLを適切にあらわすことができる評価尺度の検証です。

開催日時：1回／月（19:00頃から1.0～1.5時間程度） 場所：聖隷クリストファー大学、オンライン（Zoom）

聖隷社協会 キーワード：社会福祉協議会

社会福祉協議会は全国の各都道府県、各市町村に1か所設置されている地域福祉推進の中核的な役割を担う民間組織で、「地域共生社会」構築が叫ばれるなか、ますますその活躍が期待されています。本会は、主に静岡県内の社会福祉協議会で「社協マン・社協ウーマン」として頑張っている卒業生による勉強会を定期的に開催し、同窓生だからこそ気軽に仕事のことを相談し合えるような「より所」になることを目指しています。



浜松子ども臨床事例検討会 キーワード：子ども支援 多職種連携

医療、保健、福祉、教育、法律等の領域で子どもの支援を行っている方々が、事例検討等を通して学び合う会です。子どもの事例は、ひとつの機関だけで支援が完結できにくくなっています。他機関との連携には、他の支援機関の特徴や限界を知っておく必要があります。また、多職種の視点から学び合うことはケースの多面的理解につながり、支援の幅と質を高めます。支援困難ケースをお持ちの方や臨床力を伸ばしたいと意欲される方、さらには連携によるネットワークづくりを目指している方はぜひ参加してみませんか。

開催日時や場所につきましては、HPをご覧ください。<https://www.npo-platform.com/>



数字で見る聖隷クリストファー大学 & 介護福祉専門学校

DATA BASE

2023年5月1日現在

聖隷クリストファー大学



学生数

総数 **1,512人** 学部生 **1,408人** 大学院生 **87人** 助産学専攻科生 **17人**



看護学部

628人



社会福祉学部

316人



リハビリテーション学部

412人



国際教育学部

52人



看護学研究科

38人



社会福祉学研究科

15人



リハビリテーション科学研究科

34人



教員数

総数 **109人**

教授	准教授	
47人	28人	
講師	助教	助手
1人	30人	3人



組織

学部・学科	大学院	助産学専攻科
4学部 7学科	3研究科	1



職員数

48人



図書館蔵書

総蔵書数 **123,258冊** うち外国書 **9,918冊**

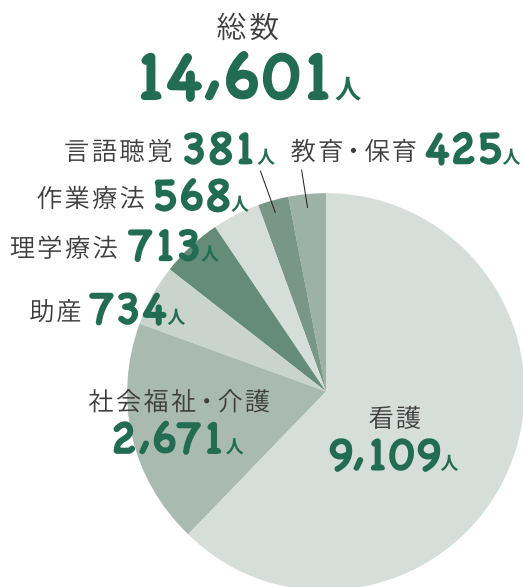


国際交流

海外の交流協定校 **6か国 10校**



系統別 卒業生・修了生数



※1971年3月～2022年3月まで



国家試験合格率

看護師 100% (95.5%※ ¹)	保健師 100% (96.8%※ ¹)	助産師 100% (95.9%※ ¹)
社会福祉士 75.9% (44.2%) ^{※²}	精神保健福祉士 94.7% (71.1%)	介護福祉士 100% (84.3%)
理学療法士 100% (94.9%※ ¹)	作業療法士 91.9% (91.3%※ ¹)	言語聴覚士 80.0% (67.4%)

※2023年3月卒業生の合格率 ※カッコ内は全国平均

※1 全国合格率は新卒者のみの合格率

※2 社会福祉学部社会福祉学科と介護福祉学科の総受験者数に対する合格率



教員・保育士免許取得者数

養護教諭 一種免許状 10人	小学校教諭 一種免許状 19人	幼稚園教諭 一種免許状 29人
保育士 登録資格 25人	国際バカロレア教員 登録資格 6人	

※2023年3月卒業生の実績



就職率

100%

※2023年3月卒業生の就職率
※就職希望者に占める就職者の割合



サークル数

30

※2023年3月現在



介護福祉専門学校



学生数

総数 **44人** うち留学生数 **8人**



教員数

4人

職員数

1人



国家試験合格率

介護福祉士
100% (84.3%)

※2023年3月卒業生の合格率
※カッコ内は全国平均



就職率

100%

※2023年3月卒業生の就職率
※就職希望者に占める就職者の割合



聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校後援会 2022年度決算・2023年度予算について

科目	項目	2022年度決算	2023年度予算
収入の部		(単位:円)	
入会金・会費	入会金	3,655,000	3,687,500
	会費	35,011,088	38,200,000
利息	預金利息	133	500
前年度繰越金		5,975,185	3,889,385
収入の部合計		44,641,406	45,777,385
支出の部		(単位:円)	
教育活動 振興援助費	新入生セミナー援助	488,956	1,020,000
	アドバイザー活動補助	78,602	125,500
	実習交通費宿泊費等の補助(看護学部)	632,310	850,000
	実習宿泊費補助(リハビリテーション学部)	1,600,000	1,600,000
	学外学会等参加費補助(助産学専攻科)	79,999	80,000
	国家試験対策講座等に係る費用の補助	4,480,435	4,020,000
	学習支援室運営費	646,921	700,000
福利厚生費	学生相談室の運営に係る費用の補助	3,488,215	4,100,000
	健康診断に係る費用の補助	4,698,728	4,920,000
	健康管理センターの充実補助	335,844	73,000
	学生の自主活動に係る費用の補助	2,127,000	2,170,000
	学生食堂運営費、売店運営費の補助	6,125,369	6,090,000
	防犯・交通安全の啓発に係る費用の補助	135,730	150,000
	スクールバス運行補助	7,601,450	10,500,000
	卒業記念品贈呈および進就職パーティ開催費	1,312,561	3,250,000
	ホームカミングデー参加補助	0	1,000,000
	学生用コピー機、印刷機費用の補助	652,962	700,000
	防災用備蓄品の購入補助	347,708	350,000
会員情報 提供費	広報誌報印刷費、発送費	1,959,948	1,700,000
	教育懇談会の開催	483,181	650,000
施設設備費	学生福利厚生設備の充実費用	120,000	120,000
	学生駐車場防犯カメラリース料、キャンパス周辺の防犯灯維持費	23,353	27,000
	キャンパス内整備(学生ホール等)、備品の購入経費	0	0
総務費	慶弔費	30,000	50,000
	父母等保証人満足度調査経費(郵送費)	94,500	100,000
	会費納付書等印刷費、郵送費	303,727	320,000
	役員会	48,100	50,000
感染症対策費 予備費	新型コロナ感染症対策、PCR検査補助	2,856,422	750,000
次年度繰越金		0	311,885
支出の部合計		44,641,406	45,777,385

2023年度 聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校後援会役員

◇会長／古橋洋子

◇副会長／鈴木智美、東條真紀、中村まり子、安田智洋(大学学生部長)

◇理事／林美恵子、堤孝弘、宮下貴行、袴田浩之、邑上亜希子、村瀬剛、渡邊晶子、宮崎真理子、中道一滋、岩下真康、市川寛和

◇幹事／中村憲司(総務部長)、藤田正人(学生サービスセンター長)

◇会計監査／橋本泰幸、棧敷祐樹

父母等保証人の方を対象とした満足度調査結果

2022年度父母等保証人の方を対象とした満足度調査にご回答いただき、誠にありがとうございました。

本学に対する総合評価では、回答いただいた方の93.6%から高い評価をいただきました。一方で、ご意見・ご要望もお寄せいただきました。同封の「2022年度満足度調査結果」にて詳細な報告およびご意見・ご要望への回答を行っていますので、ぜひご覧ください。

皆様からの声を真摯に受け止め、今後もよりよい教育を目指して取り組んでまいりますので、引き続きご支援、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

[実施時期]

2022年12月下旬～2023年1月22日締切

[実施方法]

調査の案内を学報に同封して郵送、
Webで回答

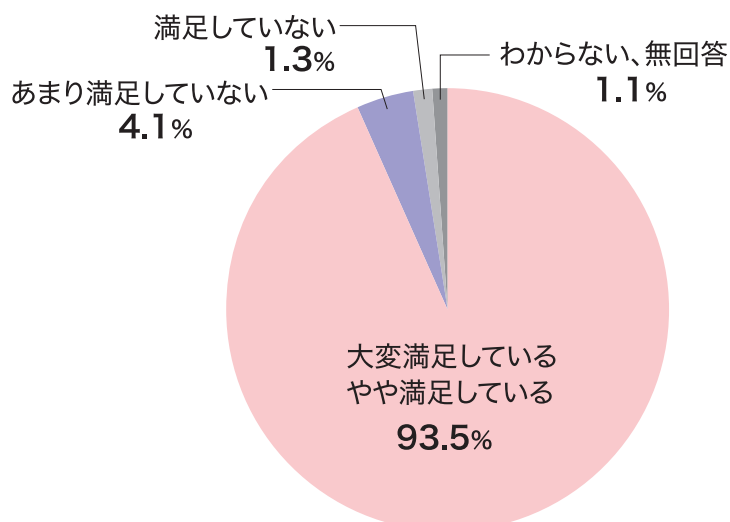
[調査対象]

全学部学科、助産学専攻科および
介護福祉専門学校の父母等保証人
計1,457名

[回答率]

49.0%(714名)

●本学に対する総合評価 (進学させてよかったかどうか)



ICT環境整備について

学修環境の電子化により、インターネットや複数のシステムを利用する場面が増えました。より快適な学修環境を充実させるために取り組んでいるICT基盤整備について、最近の状況をお伝えします。

1.Wi-Fi接続増強

世界的な半導体不足で供給が遅れていた機器が2022年ようやく到着し、Wi-Fi6に対応したアクセスポイントに更新をしました。Wi-Fi6は、従来よりも高速かつ同時接続性能が向上した規格です。

2.インターネット接続増強

安定したインターネット接続ができるよう、専用の回線を用意し、学術情報ネットワークSINET6 (Science Information NETWORK) に接続しました。SINET6は、国立情報学研究所が構築・運営する高速情報通信ネットワークです。

3.学術情報サービスの利便性向上

2023年4月に学認(学術認証フェデレーション)への加入と、認証基盤整備により、大学が契約している学術情報サービス、大学図書館が契約している電子ジャーナルの一部を、学外から利用することが可能となりました。この他にも、情報セキュリティ対策強化、DX(デジタルトランスフォーメーション)を推進しています。最新の状況やよくある質問などは、大学ホームページ内 在学生の方 > センター > ICTセンター にてご案内しています。



後援会会長 就任挨拶

後援会会長 ふるはし ようこ
古橋 洋子

日頃より会員の皆様には、聖隷クリストファー大学・聖隷クリストファー大学介護福祉専門学校後援会活動にご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。この度、後援会会長を務めさせていただくことになりました古橋洋子と申します。

本年度、391名の新入生を迎えることができました。新入生の皆様、ご家族の皆様、心よりお祝い申し上げます。本会は、大学・専門学校創立の精神に基づき、会員相互の協力によって教育の振興をはかることを目的としています。

目標に向かい、日々努力を続けている学生達が、より安全な環境のもとで、安心して学び、快適な学生生活が送れるよう取り組んでまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

2023年度教育懇談会について

教育懇談会は、父母等保証人の皆様と大学・専門学校とのコミュニケーションを深める場として、後援会の協力のもと開催され、教育環境や教育の現状、目的、課題などを知ってもらうとともに、学業、学生生活、就職、健康面などの疑問・不安を解消していただく機会としています。2023年度の開催日程は下記のとおりです。次年度の教育懇談会の日程は、決定次第ホームページにてお知らせします。今年度ご参加できなかった皆様も是非ご参加いただければ幸いです。

学部など	日程
介護福祉専門学校	6月 3日(土)
社会福祉学部・国際教育学部	7月 1日(土)
リハビリテーション学部	10月11日(水)
看護学部	10月28日(土)

プログラム

●学科・学年別などによる説明会・懇談会

●個別相談

※「説明会・懇談会」の形式は学部などにより異なります。



教育懇談会(社会福祉学部・国際教育学部)



教育懇談会(介護福祉専門学校)



SNS Official

聖隷クリストファー大学の今を配信中!





公式SNS 大学ブログ 専門学校ブログ